

第2章 箕面市の子どもと子育てをとりまく状況

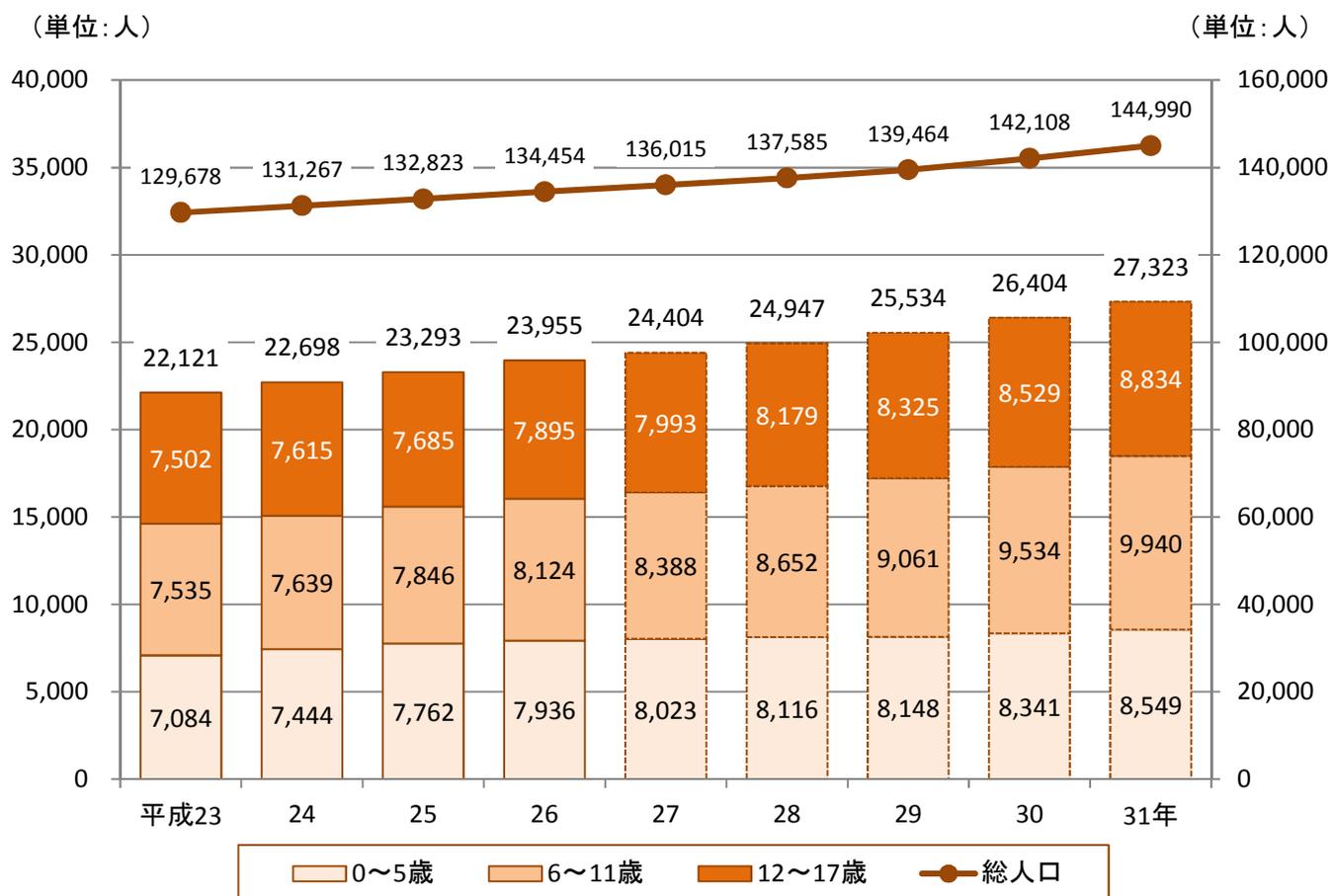
第1節 子どもと子育てをとりまく現状

第1項 人口等の状況

1 子ども人口推移

本市の18歳未満人口は、年々増加傾向にあります。平成26年(2014年)4月1日では、「0～5歳」が7,936人、「6～11歳」が8,124人、「12～17歳」が7,895人となっています。

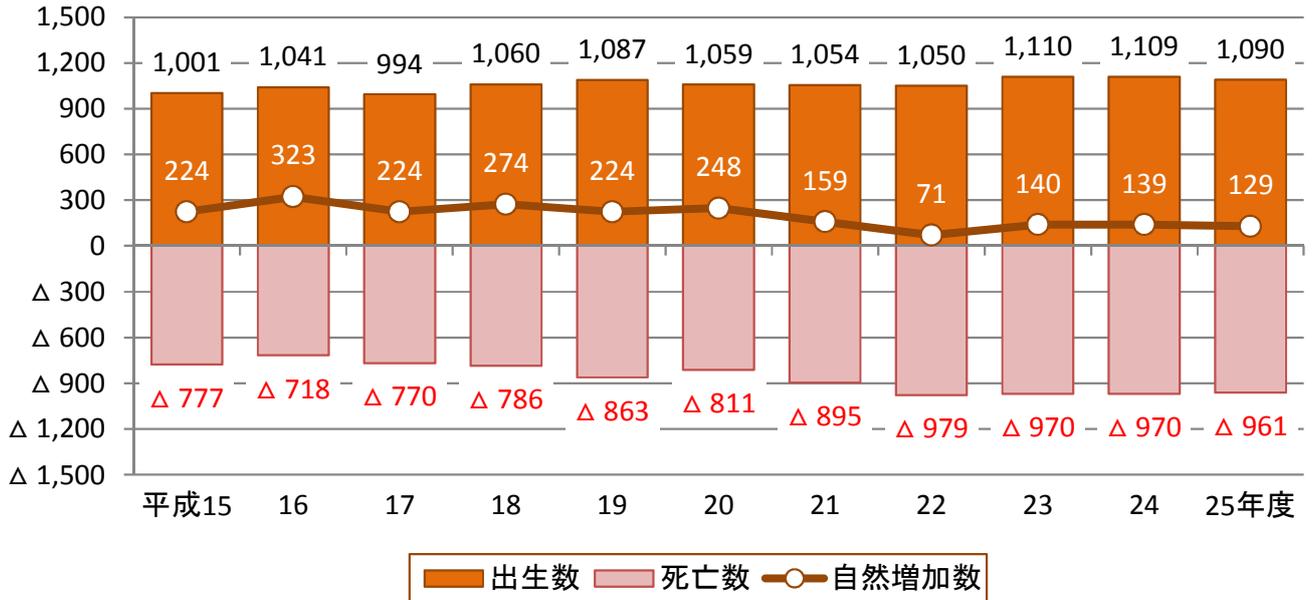
今後も、彩都地域や箕面森町地域といった新市街地での住宅供給が継続し、平成32年度(2020年度)に予定されている北大阪急行の延伸に向けて人口の流入が見込まれることから、平成27年(2015年)以降の人口推計でも、いずれの年代も増加傾向となっています。



資料：子ども未来創造局

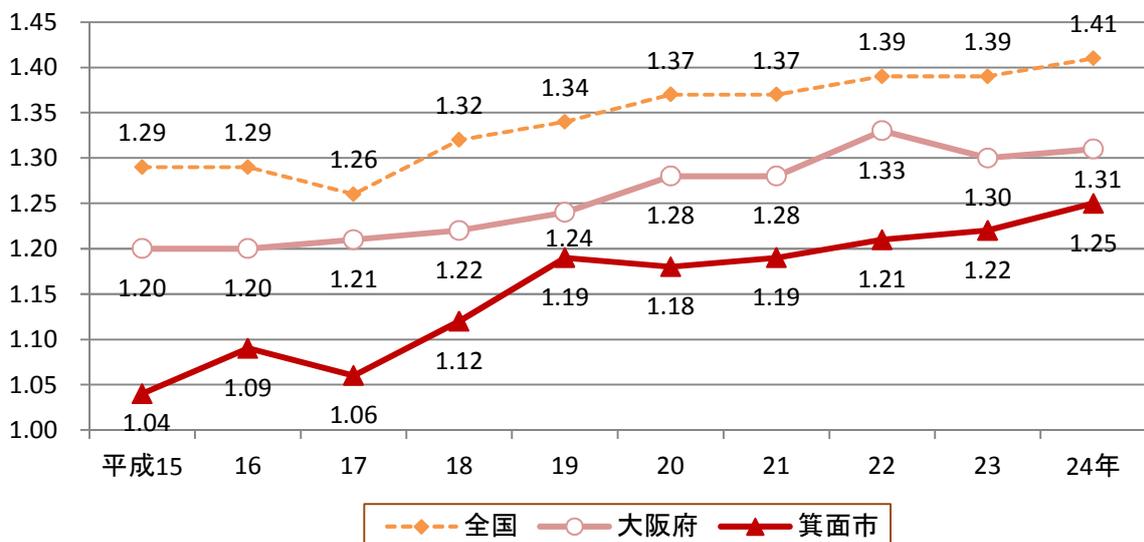
2 人口動態の推移

本市の出生数は、平成25年度(2013年度)で1,090人、平成15年度(2003年)からの変化をみると1,000人前後で推移しています。死亡数は、平成22年度(2010年度)には900人を超え、平成25年度(2013年度)で961人となっています。自然増加数は、平成20年度(2008年度)までは220~330人の間で推移していましたが、平成22年度(2010年度)に71人まで減少した後は、120~140人の間で推移しており、自然増の状態が続いています。



資料：市民部

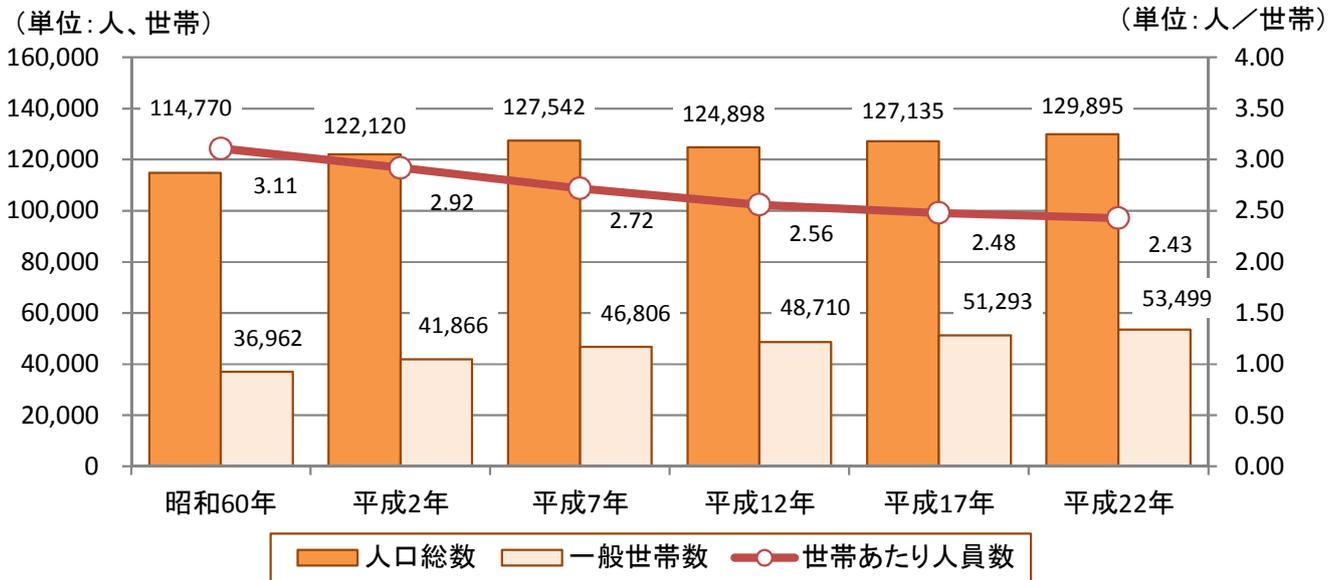
本市の合計特殊出生率をみると、平成24年(2012年)で1.25となっています。全国や大阪府と比べて低い値となっていますが、平成20年(2008年)以降は増加傾向にあります。



資料：子ども未来創造局

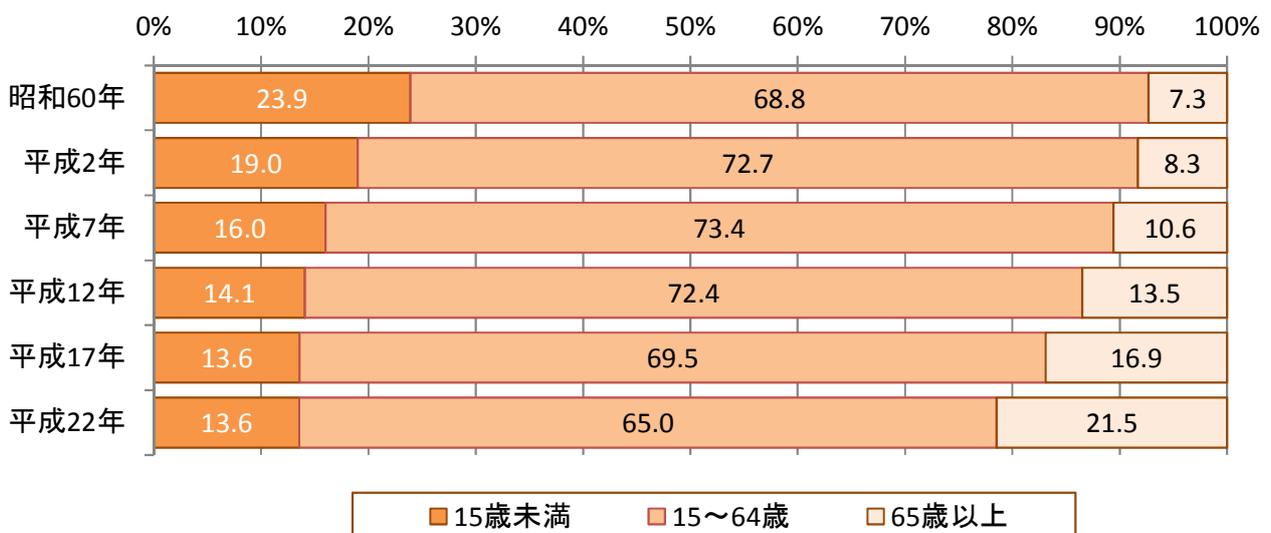
3 人口・世帯の推移

平成22年(2010年)の本市の人口総数は129,895人、一般世帯数は53,499世帯となっています。昭和60年(1985年)からの変化をみると、一般世帯数は年々増加し、人口総数は増減を繰り返していますが、世帯あたり人員数は減少傾向にあり、平成22年(2010年)では2.43人/世帯となっています。



資料：国勢調査

本市の人口を、15歳未満(年少人口)、15~64歳(生産年齢人口)、65歳以上(高齢人口)の年齢3区分でみると、年少人口の割合は減少し、高齢人口の割合は増加しており、平成22年(2010年)では、年少人口の割合が13.6%、生産年齢人口の割合が65.0%、高齢人口の割合が21.5%となっています。



資料：国勢調査

本市における平成22年(2010年)の一般世帯53,499世帯のうち、6歳未満の子どもがいる世帯は5,097世帯で全体の9.5%、うち、核家族世帯は全体の8.9%となっています。また、18歳未満の子どもがいる世帯は12,509世帯で全体の23.4%、うち、核家族世帯は全体の21.2%となっており、6歳未満の子どもがいる世帯、18歳未満の子どもがいる世帯ともに、大半が核家族世帯となっています。

平成17年(2005年)～平成22年(2010年)の変化をみると、6歳未満の子どもがいる世帯では、世帯数に比べて伸び率が高くなっており、18歳未満の子どもがいる世帯でも、世帯数に比べて伸び率が高くなっており、子どもがいる世帯で核家族化が進んでいることがわかります。

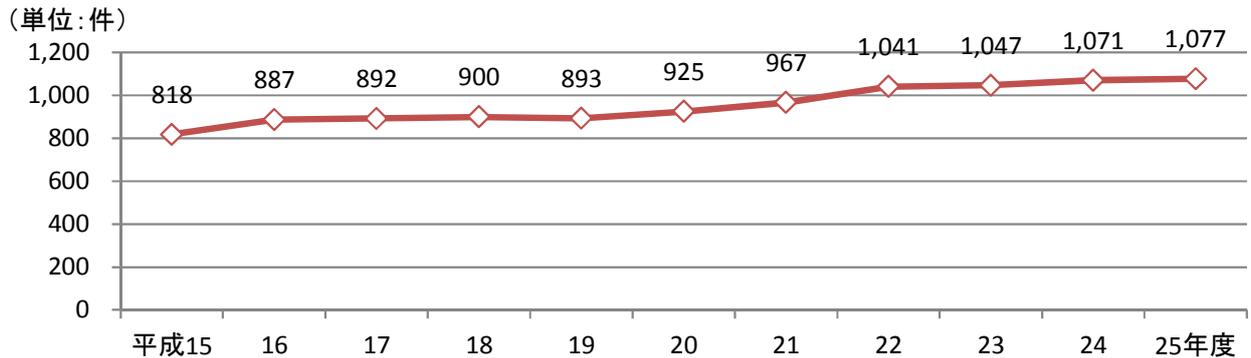
子どもがいる世帯の割合を、大阪府、全国と比べると、6歳未満の子どもがいる世帯の割合は、本市が9.5%、大阪府が8.8%、全国が9.4%、18歳未満の子どもがいる世帯の割合は、本市が23.4%、大阪府が21.6%、全国が23.1%となっています。

	平成12年		平成17年		平成22年		平成12年 →平成17年	平成17年 →平成22年
	実数[世帯]	構成比[%]	実数[世帯]	構成比[%]	実数[世帯]	構成比[%]	の伸び率[%]	の伸び率[%]
一般世帯総数	48,710	100.0	51,293	100.0	53,499	100.0	5.3	4.3
6歳未満の子どもがいる世帯	4,890	10.0	5,057	9.9	5,097	9.5	3.4	0.8
核家族世帯	4,452	9.1	4,685	9.1	4,772	8.9	5.2	1.9
その他の親族世帯	438	0.9	372	0.7	316	0.6	△15.1	△15.1
18歳未満の子どもがいる世帯	12,638	25.9	12,382	24.1	12,509	23.4	△2.0	1.0
核家族世帯	11,234	23.1	11,158	21.8	11,358	21.2	△0.7	1.8
その他の親族世帯	1,394	2.9	1,214	2.4	1,073	2.0	△12.9	△11.6
非親族・単独世帯	10	0.0	10	0.0	33	0.1	0.0	230.0

平成22年度	箕面市	大阪府	全国
一般世帯総数 [世帯]	53,499	3,823,279	51,842,307
6歳未満の子どもがいる世帯 [世帯]	5,097	336,831	4,877,321
[構成比%]	9.5	8.8	9.4
18歳未満の子どもがいる世帯 [世帯]	12,509	826,999	11,989,891
[構成比%]	23.4	21.6	23.1

資料：国勢調査

本市における児童扶養手当※の受給件数をみると、年々増加傾向にあります。



資料：子ども未来創造局

4 労働力人口・労働力率の推移

本市における平成22年(2010年)の労働力人口は60,119人で、そのうち、男性が35,106人(58.4%)、女性が25,013人(41.6%)となっています。

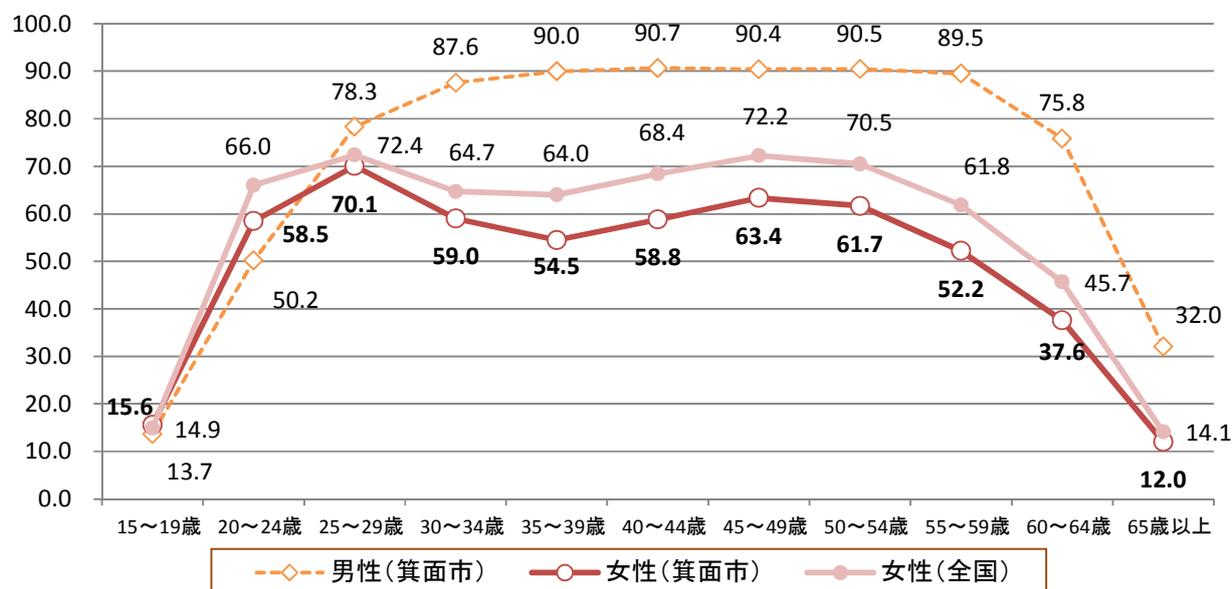
平成17年(2005年)～平成22年(2010年)の変化をみると、15歳以上人口は全体として2.35%と伸び率が高くなっていますが、労働力人口は全体として△2.73%となっており、労働力人口全体が減少傾向にあることがわかります。

		平成12年		平成17年		平成22年		平成12年 →平成17年の 伸び率 [%]	平成17年 →平成22年の 伸び率 [%]
		実数[人]	構成比[%]	実数[人]	構成比[%]	実数[人]	構成比[%]		
15歳以上人口	総数	107,016	100.0	109,575	100.0	112,152	100.0	2.39	2.35
	男性	51,281	47.9	52,154	47.6	53,319	47.5	1.7	2.23
	女性	55,735	52.1	57,421	52.4	58,833	52.5	3.03	2.46
労働力人口	総数	60,972	100.0	61,806	100.0	60,119	100.0	1.37	△ 2.73
	男性	37,129	60.9	36,671	59.3	35,106	58.4	△ 1.23	△ 4.27
	女性	23,843	39.1	25,135	40.7	25,013	41.6	5.42	△ 0.49

資料：国勢調査

※児童扶養手当：ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。

本市の年齢階級別・男女別の労働力率をみると、男性では35～59歳にかけて9割以上となっているのに対し、女性では30歳以上で減少し、35～39歳で54.5%まで落ち込んだ後、緩やかに増加し、50歳以上で再び減少していきます。子育て世代で労働力率が落ち込むM字カーブとなっていますが、子育て後の労働力率は45～49歳で63.4%までしか回復しておらず、25～29歳の70.1%より低い値となっています。



資料：国勢調査

女性の労働力率を、大阪府、全国と比較すると、本市が42.5%、大阪府が43.9%、全国が47.0%と、全国と比べて低い値となっています。

平成22年	箕面市			大阪府			全国		
	人口	労働力人口	労働力率	人口	労働力人口	労働力率	人口	労働力人口	労働力率
	実数[人]	実数[人]	構成比[%]	実数[人]	実数[人]	構成比[%]	実数[人]	実数[人]	構成比[%]
合計	58,833	25,013	42.5	3,971,375	1,744,826	43.9	57,122,871	26,874,210	47.0
15～19歳	3,084	480	15.6	204,027	33,317	16.3	2,954,128	440,816	14.9
20～24歳	4,079	2,385	58.5	234,852	145,059	61.8	3,160,193	2,086,599	66.0
25～29歳	3,676	2,576	70.1	262,798	179,887	68.5	3,601,978	2,607,433	72.4
30～34歳	4,158	2,453	59.0	297,151	177,276	59.7	4,120,486	2,666,556	64.7
35～39歳	5,258	2,864	54.5	365,369	212,257	58.1	4,836,227	3,094,720	64.0
40～44歳	4,907	2,886	58.8	327,622	204,361	62.4	4,341,490	2,970,796	68.4
45～49歳	4,206	2,665	63.4	280,765	186,107	66.3	4,005,147	2,893,442	72.2
50～54歳	3,950	2,436	61.7	241,689	154,768	64.0	3,834,923	2,704,076	70.5
55～59歳	4,293	2,242	52.2	281,322	156,977	55.8	4,376,245	2,706,540	61.8
60～64歳	5,781	2,172	37.6	365,139	151,719	41.6	5,116,781	2,337,890	45.7
65歳以上	15,441	1,854	12.0	1,110,641	143,098	12.9	16,775,273	2,365,342	14.1

資料：国勢調査

本市における平成22年（2010年）の常住している就業者数は56,522人で、そのうち、男性が32,695人（57.8%）、女性が23,827人（42.2%）となっています。また、配偶者の女性の割合は全体の22.9%となっています。

従業員率でみると、通勤者の中で、市内に従業している人の内訳が、男性が39.1%、女性が60.9%となっており、全体の就業者数の内訳と比較して女性の割合が高くなっています。一方、市外で従業している人の内訳は、男性が65.7%、女性が34.3%と、女性の割合が低くなっており、常住地の近くで従業している女性が多いことがわかります。

平成22年度	全体	男性	女性	
				うち、有配偶の女性
就業者数 [人]	56,522	32,695	23,827	12,944
[構成比%]	100.0	57.8	42.2	22.9
自宅就業者数 [人]	3,473	1,956	1,517	1,153
[構成比%]	100.0	56.3	43.7	33.2
通勤者数 [人]	51,177	29,537	21,640	11,337
[構成比%]	100.0	57.7	42.3	22.2
市内従業 [人]	15,418	6,033	9,385	5,739
[構成比%]	100.0	39.1	60.9	37.2
市外従業 [人]	35,759	23,504	12,255	5,598
[構成比%]	100.0	65.7	34.3	15.7

資料：国勢調査

男女別就業者数を、大阪府、全国と比較すると、就業者に占める女性の割合は、本市が42.2%、大阪府が42.8%、全国が42.8%と、大きな差はないものの、配偶者の女性の占める割合は、本市が22.9%、大阪府が22.3%、全国が25.1%と、全国と比べて低くなっており、専業主婦の割合が高いことが推察されます。

平成22年度	全体	男性	女性	
				うち、有配偶の女性
箕面市 [人]	56,522	32,695	23,827	12,944
[構成比%]	100.0	57.8	42.2	22.9
大阪府 [人]	3,815,058	2,181,230	1,633,828	850,123
[構成比%]	100.0	57.2	42.8	22.3
全国 [人]	59,611,589	34,089,774	25,521,815	14,946,630
[構成比%]	100.0	57.2	42.8	25.1

資料：国勢調査

第2項 子どもの状況と子育ての実態

1 就学前児童の保育の状況

平成25年度(2013年度)における本市の保育所数は、市立が5か所、私立が11か所の合計16か所となっており、保育所定員数は1,625人、保育児童数は1,678人となっています。平成15年度(2003年度)からの変化をみると、保育児童数は年々増加傾向にあります。待機児童数は、平成19年度(2007年度)以降増加傾向にありましたが、「子育て応援幼稚園※」制度が開始した平成23年度(2011年度)は減少し、それ以降は100人前後で推移しています。

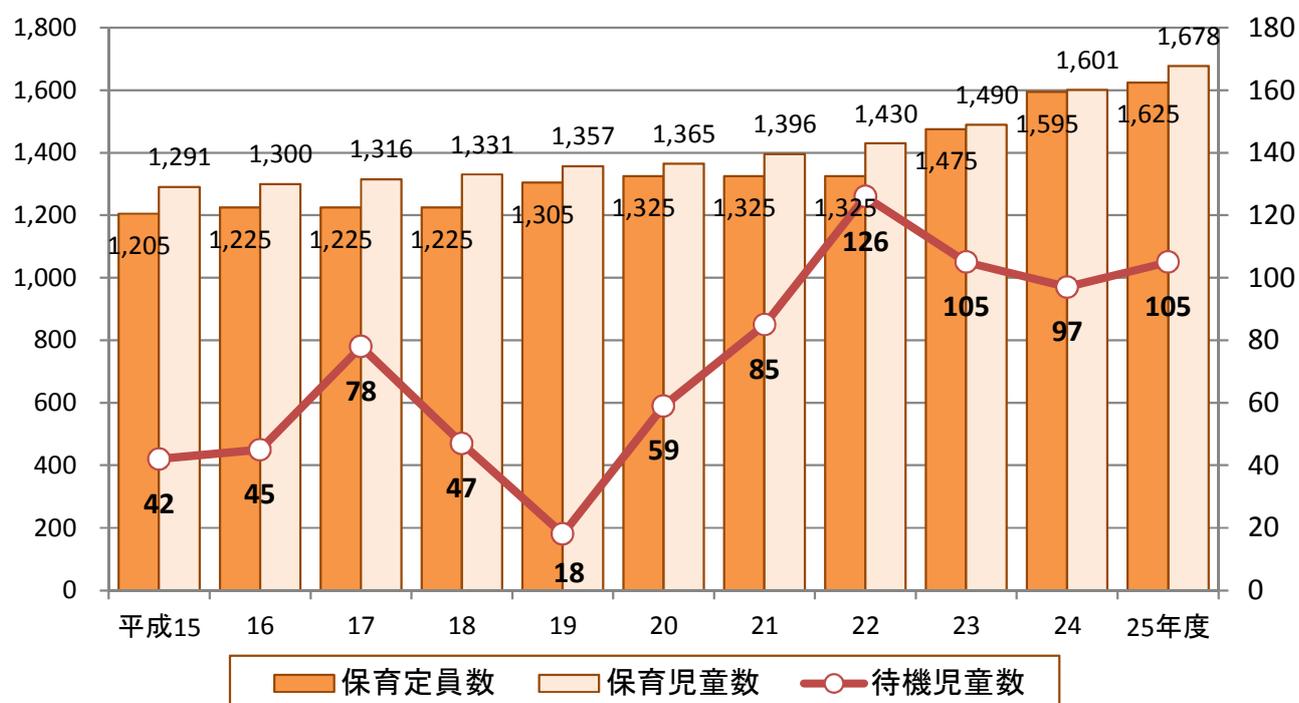
各年度3月1日現在

待機児童数のみ各年度当初(4月1日現在)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
保育所数[か所]	12	12	12	12	12	12	12	12	14	15	16
市立[か所]	7	7	7	7	6	5	5	5	5	5	5
私立[か所]	5	5	5	5	6	7	7	7	9	10	11
保育定員数[人]	1,205	1,225	1,225	1,225	1,305	1,325	1,325	1,325	1,475	1,595	1,625
市立[人]	800	800	800	800	760	660	660	660	660	660	660
私立[人]	405	425	425	425	545	665	665	665	815	935	965
保育児童数[人]	1,291	1,300	1,316	1,331	1,357	1,365	1,396	1,430	1,490	1,601	1,678
市立[人]	850	855	860	872	766	654	665	681	656	656	667
私立[人]	441	445	456	459	591	711	731	749	834	945	1,011
待機児童数[人]	42	45	78	47	18	59	85	126	105	97	105

(単位:人)

(単位:人)



資料：子ども未来創造局

平成25年度(2013年度)における本市の幼稚園は、市立が5か所、私立が7か所の合計12か所となっており、園児数は、市立が352人、私立が1,552人となっています。平成23年度(2011年度)に「子育て応援幼稚園※」制度を開始したことにより、私立幼稚園の園児数が増加しています。

各年度5月1日現在

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
市立幼稚園[か所]	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5
定員[人]	910	910	910	910	910	910	930	875	875	875
園児数[人]	552	499	488	482	467	480	473	400	398	352
私立幼稚園[か所]	7	7	7	7	7	7	6	7	7	7
定員[人]	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,680	1,775	1,775	1,775
園児数[人]	1,377	1,420	1,454	1,460	1,456	1,374	1,351	1,439	1,542	1,552



資料：子ども未来創造局

※子育て応援幼稚園：本市では、夏休みなどの長期休業中も午前8時から午後6時までの預かり保育を行っている私立幼稚園を「子育て応援幼稚園」と名付け、「子育て応援幼稚園」に通う園児の保護者には、独自の補助金制度を設けています。

平成25年度(2013年度)における本市の子育て支援センターの来所組数は13,349組、相談件数は599件となっています。平成15年度(2003年度)からの変化をみると、増加傾向にあります。なお、平成25年度(2013年度)は1か所開設することによる増加となっています。

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
来所組数 [組]	中央	3,969	4,455	4,754	5,042	4,520	4,543	4,281	4,841	4,175	4,486	4,332
	分室	862	2,855	3,836	4,833	-	-	-	-	-	-	-
	西部	-	-	-	-	5,431	6,105	4,791	5,387	4,965	5,676	5,832
	ひじり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,185
	合計	4,831	7,310	8,590	9,875	9,951	10,648	9,072	10,228	9,140	10,162	13,349
相談件数[件]		326	369	282	410	397	312	360	467	487	466	599

資料：子ども未来創造局

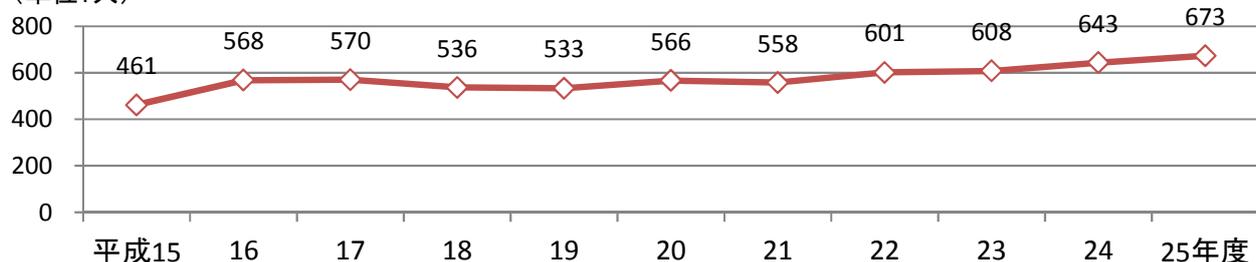
2 小学生の状況

平成25年度(2013年度)における本市の学童保育の利用状況をみると、全体で施設数は14か所、定員は870人で、利用人数は673人となっています。平成15年度(2003年度)からの利用者人数の変化をみると、平成21年度(2009年度)以降は増加傾向にあります。

平成25年度

対象校区	箕面	止々呂美	萱野	北	南	西	東	西南	萱野東	豊川北	中	豊川南	萱野北	彩都の丘
定員[人]	60	40	70	40	40	80	70	70	80	80	80	80	40	40
利用人数[人]	46	22	68	33	38	62	58	68	58	32	60	74	22	32
利用率[%]	76.7	55.0	97.1	82.5	95.0	77.5	82.9	97.1	72.5	40.0	75.0	92.5	55.0	80.0

(単位:人)



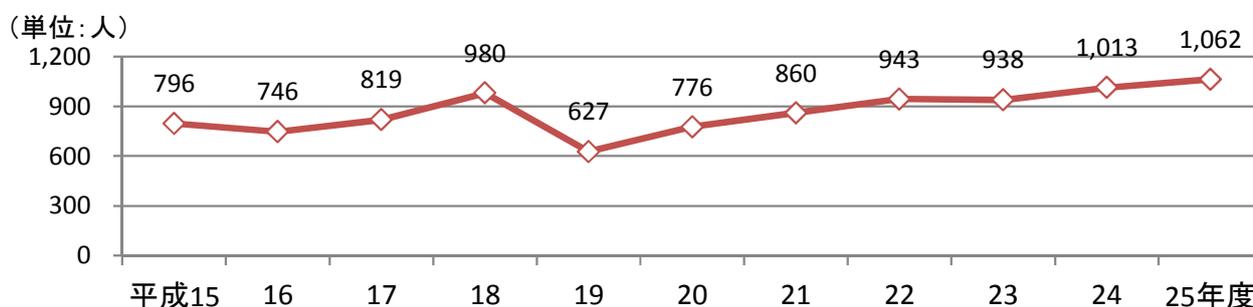
資料：子ども未来創造局

本市では、学童保育にあわせ、「自由な遊び場開放事業」として、全ての小学生が放課後に自由に遊べるよう、市内の全ての市立小学校の体育や運動場、余裕教室の一室を子どもたちの遊び場として開放しています。

平成25年度(2013年度)における本市の「自由な遊び場開放事業」の利用状況をみると、1,062人となっており、平成15年度(2003年度)からの変化をみると、平成19年度(2007年度)以降は増加傾向にあります。

平成25年度

対象校区	箕面	止々呂美	萱野	北	南	西	東	西南	萱野東	豊川北	中	豊川南	萱野北	彩都の丘	合計	の1 平校 均 あたり
利用人数[人]	46	22	68	33	38	62	58	68	58	32	60	74	22	32	673	48



資料：子ども未来創造局

3 学校の状況

平成25年度(2013年度)における本市の市立小学校は14校、児童数は7,547人、教員数は396人となっています。平成16年度(2004年度)からの変化をみると、児童数は増加していますが、これに伴い教員数も増加しており、教育1人に対する児童数はほぼ一定となっています。

各年度5月1日現在

市立小学校の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数[校]	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14
学級数[学級]	246	250	258	258	261	271	270	281	287	299
児童数[人]	6,891	6,955	6,967	6,898	7,019	7,048	7,177	7,223	7,365	7,547
教員数[人]	324	326	340	346	347	366	365	376	375	396
教員1人あたり児童数[人]	21	21	20	20	20	19	20	19	20	19

資料：子ども未来創造局

平成25年度(2013年度)における本市の市立中学校は8校、生徒数は3,313人、教員数は220人となっています。平成16年度(2004年度)からの変化をみると、生徒数は増加していますが、これに伴い教員数も増加しており、教育1人に対する児童数はほぼ一定となっています。

各年度5月1日現在

市立中学校の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数 [校]	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8
学級数 [学級]	98	95	95	95	97	103	108	109	110	116
生徒数 [人]	2,990	2,969	2,992	3,037	2,966	3,090	3,130	3,295	3,265	3,313
教員数 [人]	191	185	186	183	190	197	205	204	205	220
教員1人あたり生徒数 [人]	16	16	16	17	16	16	15	16	16	15

資料：子ども未来創造局

平成25年度(2013年度)における本市の府立高等学校は2校、生徒数は1,731人となっています。平成16年度(2004年度)からの変化をみると、平成19年度(2007年度)以降、増加傾向にあります。

各年度5月1日現在

府立高等学校の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学校数 [校]	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生徒数 [人]	1,676	1,618	1,531	1,517	1,553	1,579	1,654	1,703	1,721	1,731

資料：子ども未来創造局

平成25年度(2013年度)における本市の小学校の長期欠席は78人、うち不登校数は15人となっており、在籍数に占める不登校の割合は2.0%(0.2%)となっています。中学校の長期欠席は128人、うち不登校数は51人となっており、在籍数に占める不登校の割合は15.4%(1.54%)となっています。

小中学校の長期欠席・不登校数・不登校千人率

平成25年度	長期欠席 [人]	うち不登校数 [人]	在籍数 [人]	不登校千人率 [%]
小学校	78	15	7,547	2.0
中学校	128	51	3,313	15.4

資料：子ども未来創造局

4 子どもの健康状態

平成25年度(2013年度)における健康診査の受診率は、妊婦健康診査が97.6%、1歳6か月健診が97.0%、3歳6か月健診が93.3%となっています。平成15年度(2003年度)からの変化をみると、全ての健康診査において増加傾向にあります。

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
妊婦健康診査	対象者数[人]	1,119	1,006	1,153	1,142	1,113	1,090	1,102	1,125	1,150	1,146	1,078
	受診者数[人]	1,043	998	1,026	1,054	1,038	1,013	969	1,035	1,118	1,083	1,052
	受診率[%]	93.2%	99.2%	89.0%	92.3%	93.3%	92.9%	87.9%	92.0%	97.2%	94.5%	97.6%
1歳6か月健診	対象者数[人]	1,123	1,065	1,152	1,083	1,103	1,107	1,137	1,157	1,183	1,223	1,266
	受診者数[人]	1,006	967	1,077	1,038	1,051	1,044	1,084	1,092	1,123	1,185	1,228
	受診率[%]	89.6%	90.8%	93.5%	95.8%	95.3%	94.3%	95.3%	94.4%	94.9%	96.9%	97.0%
3歳6か月健診	対象者数[人]	1,103	1,153	1,181	1,154	1,203	1,127	1,191	1,201	1,253	1,299	1,294
	受診者数[人]	847	915	922	974	1,009	997	1,032	1,044	1,127	1,139	1,207
	受診率[%]	76.8%	79.4%	78.1%	84.4%	83.9%	88.5%	86.6%	86.9%	89.9%	87.7%	93.3%

資料：健康福祉部

平成25年度(2013年度)における保健師と地区福祉会（西南小校区のみ民生委員児童委員協議会）との共催での健康教育・健康相談を実施した子育てサロンの参加者は5,028人となっています。子育てサロンは各小学校区で平成14年度(2002年度)から設置が始まり、平成18年度(2006年度)には全地区に広がり、1地区で年8～12回開催されており、身近な地域で子育ての情報や相談が気軽に受けられるようになっています。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
子育てサロン参加者数[人]	2,192	2,889	4,071	4,711	4,695	4,205	3,647	4,329	4,207	4,489	5,028

資料：健康福祉部

平成25年度

校区名	箕面小	萱野小	北小	南小	西小	東小	西南小	萱野東小	豊川北小	中小	豊川南小	萱野北小	合計
開催場所	日時計 ルームみ のお	みのお市 民活動セ ンター	中央生涯 学習セン ター	南小さく らルーム みなみ	星座ルー ム西	東小コミ セン	せいなん 幼稚園	萱野東小 コミセン	豊川北小 コミセン	中小コミ セン	豊川南小 コミセン・ とよかわ みなみ幼 稚園	萱野北小 コミセン	
開催回数[回]	8	10	12	12	11	9	11	8	10	12	12	12	127
延べ人数[人]	270	466	268	284	233	535	585	232	692	399	657	407	5,028

資料：健康福祉部

5 子どもの人権

本市における「児童虐待の防止等に関する法律」施行後の通告件数をみると、平成15年度(2003年度)から増加していましたが、平成19年度(2007年度)以降は50～70件の間を推移しており、平成25年度(2013年度)には54件となっています。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
虐待通告件数[件]	10	34	42	35	62	65	67	68	58	52	54

資料：子ども未来創造局

平成25年度(2013年度)における本市の刑法犯少年(「刑法」等に触れる行為をした犯罪少年及び触法少年)は38人となっています。平成15年度(2003年度)からの変化をみると、増減を繰り返していましたが、平成22年度(2010年度)以降は減少傾向となっています。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
刑法犯少年の補導人数[人]	125	152	182	197	164	139	141	102	92	91	38

資料：箕面警察署

6 地域の子育て環境

本市では子どもの遊び場となる公園を370か所整備しており、公園面積の合計は、149.34haとなっています。

区分	箇所数	面積(ha)
近隣公園	11	14.37
総合公園	0	0
街区公園	58	14.07
府営箕面公園	1	83.8
小計	70	112.24
児童遊園	15	1.18
その他の公園及び緑地	285	35.92
合計	370	149.34

資料：みどりまちづくり部

第2節 アンケート調査結果からみた子育て支援ニーズ

第1項 調査概要

1 調査目的

子ども・子育て支援新制度に基づき、箕面市子ども・子育て支援事業計画作成のための基礎データを得ることを目的に実施しました。

2 調査設計

調査地域	箕面市全域
調査対象	①市内在住の0歳～5歳の就学前児童 ②市内在住の小学1年生～6年生の児童
標本数	4,000名（内訳：① 2,000名、② 2,000名）
抽出方法	住民基本台帳に基づく層化抽出
調査方法	郵便配布・郵送回収による調査 ・市役所子ども総合窓口、市立保育所・幼稚園及び子育て支援センター（おひさまルームかやの・おひさまルームみのお）において直接回収を実施
調査期間	平成25年(2013年)12月6日（金） ～ 平成25年(2013年)12月23日（月・祝）

3 回収結果

調査対象	配布件数	回収件数	回収率
就学前児童（0～5歳）	2,000件	1,241件	62.1%
就学児童（小学生）	2,000件	1,245件	62.3%
合計	4,000件	2,486件	62.2%

4 集計表の見方

- 集計結果は、全て小数点以下第二位を四捨五入しており、比率の合計が100%とならないことがあります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えます。
- 回答比率（%）は、その質問の回答者数（N=母集団）として算出しています。

第2項 母親の就労状況

母親の就労状況について、就学前児童のいる母親（1,241人）は、「以前は働いていたが、今は働いていない」が最も多く53.6%、その次に「パート・アルバイトなどで働いている」が16.2%、「フルタイムで働いている」が14.4%と続いています。

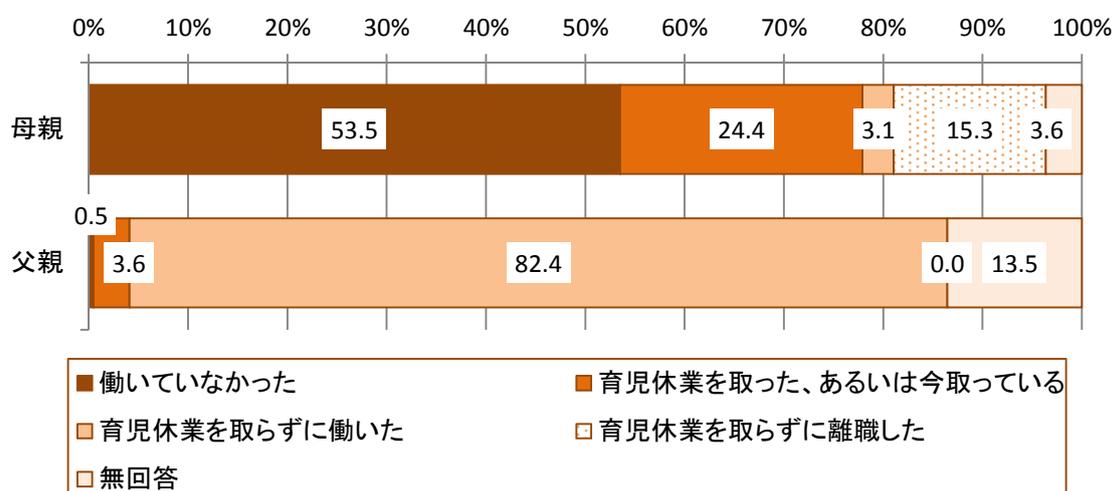
就学児童のいる母親（1,245人）は、「パート・アルバイトなどで働いている」が最も多く39.1%、その次に「以前は働いていたが、今は働いていない」が29.1%、「フルタイムで働いている」が17.5%と続いています。

		母親の就労状況							全体
		フルタイムで働いている	今はパート・アルバイトなどで働いているが、 休・介護休業中	フルタイムで働いているが、 休・介護休業中	パート・アルバイトなどで働いている	パート・アルバイトなどで働いているが、 休・介護休業中	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	
就学前児童	0歳	1.5%	3.4%	1.2%	0.3%	9.8%	0.5%	0.2%	16.8%
	1歳	2.5%	0.6%	1.7%	0.1%	9.8%	0.8%	0.2%	15.6%
	2歳	1.9%	0.6%	2.2%	0.2%	8.9%	1.0%	0.1%	14.8%
	3歳	2.5%	1.0%	3.4%	0.1%	7.6%	1.7%	0.2%	16.4%
	4歳	3.1%	0.5%	2.9%	0.0%	8.1%	1.2%	0.3%	16.1%
	5歳	2.7%	0.1%	4.3%	0.1%	8.6%	2.2%	0.4%	18.3%
	不明	0.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.8%	0.2%	0.1%	2.0%
	全体	14.4%	6.1%	16.2%	0.7%	53.6%	7.6%	1.4%	100.0%

		母親の就労状況							全体
		フルタイムで働いている	今はパート・アルバイトなどで働いているが、 休・介護休業中	フルタイムで働いているが、 休・介護休業中	パート・アルバイトなどで働いている	パート・アルバイトなどで働いているが、 休・介護休業中	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	
就学児童	6歳	3.6%	0.4%	6.4%	0.2%	7.4%	1.0%	0.9%	19.9%
	7歳	3.4%	0.1%	5.2%	0.0%	6.1%	2.0%	0.4%	17.2%
	8歳	2.6%	0.2%	6.7%	0.0%	5.2%	1.6%	0.6%	16.9%
	9歳	2.1%	0.1%	6.8%	0.0%	3.8%	1.8%	0.2%	14.8%
	10歳	2.5%	0.1%	5.5%	0.1%	3.5%	1.5%	0.6%	13.9%
	11歳	2.9%	0.0%	7.2%	0.2%	2.7%	1.3%	0.6%	14.9%
	不明	0.5%	0.0%	1.1%	0.0%	0.3%	0.2%	0.3%	2.4%
	全体	17.5%	0.8%	39.1%	0.5%	29.1%	9.4%	3.6%	100.0%

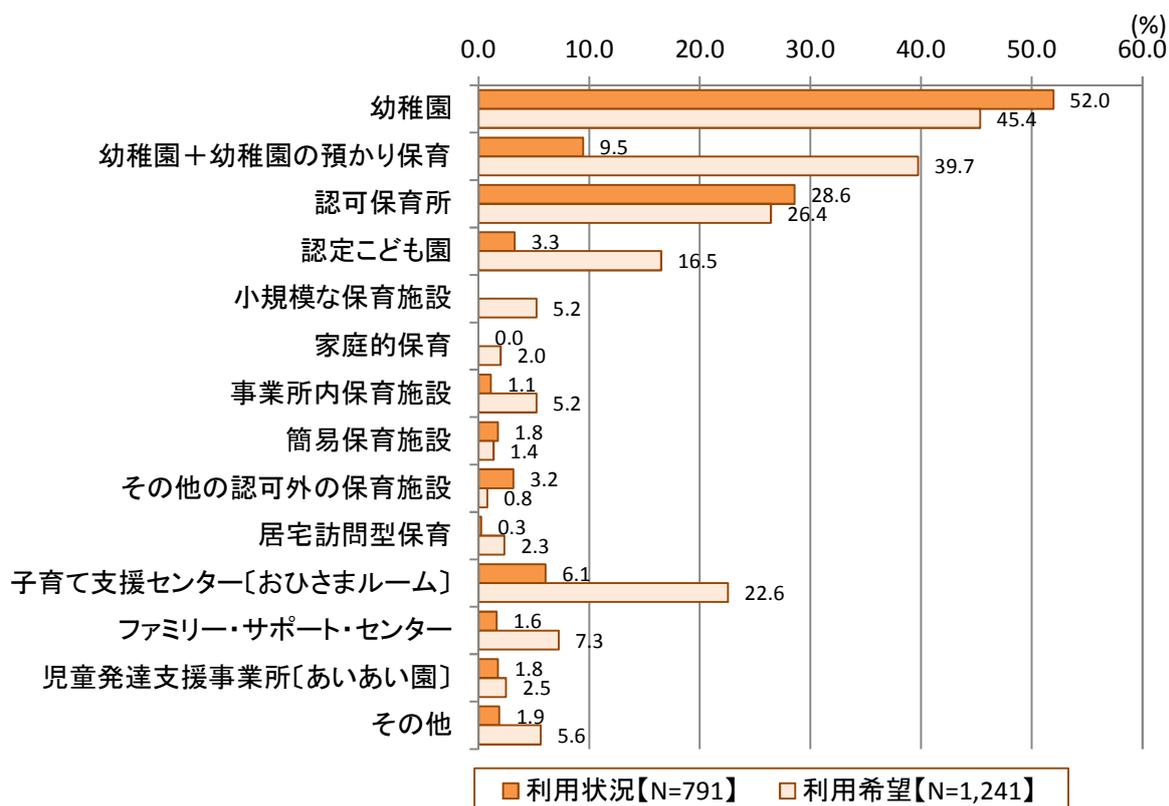
第3項 育児休業の取得状況

育児休業の取得状況について、就学前児童のいる家庭 1,241 人に聞いたところ、母親は、「働いていなかった」が最も多く 53.5%、その次に「育児休業を取った、あるいは今取っている」が 24.4%、「育児休業を取らずに離職した」が 15.3%と続いています。また、父親のほとんどが、「育児休業を取らずに働いた」で、82.4%となっています。



第4項 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況

平日の定期的な保育所や幼稚園などの利用状況と利用希望について、利用状況と希望の差をみると、希望の方が多いものは、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が最も多く 30.2 ポイント差、その次に「子育て支援センター」が 16.5 ポイント差となっています。逆に、利用状況の方が多いものは、「幼稚園」が最も多く 6.6 ポイント差となっています。



また、平日の定期的な保育所や幼稚園などの利用状況を、就学前児童の年齢別にみると、0～2歳で「利用していない」が最も多く、3～5歳で「幼稚園」が最も多くなっています。

	サービス利用の有無														利用していない	無回答
	利用施設・サービス状況															
	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	簡易保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	子育て支援センター（おひさまルーム）	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所（あいあい園）	その他	無回答		
0歳【N=208】	4.3	1.0	8.7	1.9	0.0	1.4	1.4	0.5	0.0	5.8	1.0	0.0	0.0	0.0	78.8	0.0
1歳【N=194】	3.6	1.0	18.0	0.5	0.0	1.0	2.1	2.1	0.0	3.6	1.0	1.5	1.0	0.5	67.0	0.0
2歳【N=184】	12.0	1.6	17.9	1.6	0.0	0.5	1.6	4.9	0.0	6.5	0.0	2.2	2.7	0.0	53.3	1.1
3歳【N=203】	48.3	9.4	25.6	3.4	0.0	0.5	0.0	2.5	0.0	4.4	0.5	2.0	2.5	0.5	10.8	0.5
4歳【N=200】	62.5	10.0	18.5	3.5	0.0	0.5	0.0	1.0	0.5	2.5	2.5	0.5	1.0	0.5	5.0	0.5
5歳【N=227】	63.0	11.5	20.3	1.8	0.0	0.4	0.9	1.3	0.4	1.3	1.3	0.9	0.4	1.3	4.8	0.9

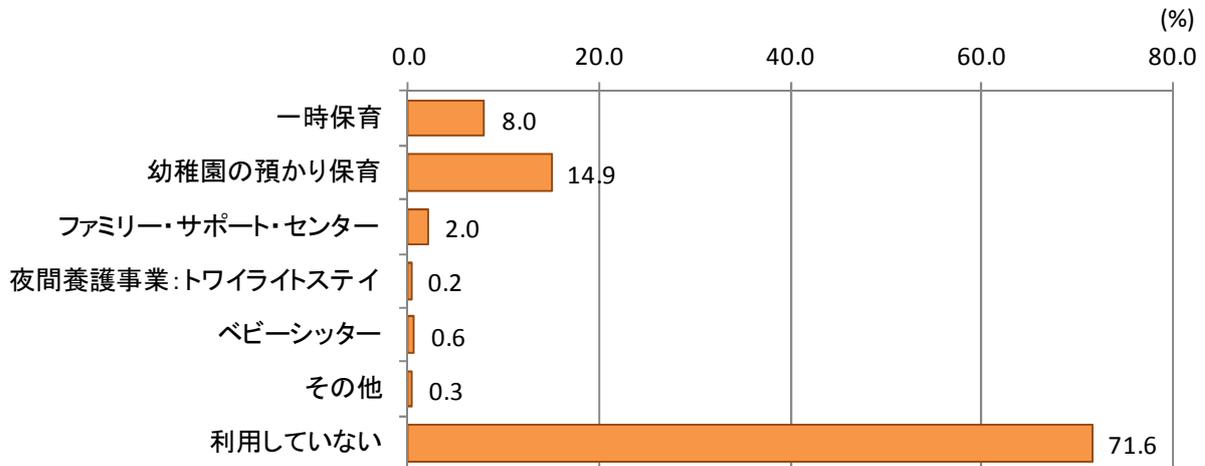
第5項 病児保育の利用希望

病児保育の利用希望について、就学前児童のいる母親の就労状況別にみると、フルタイムで働いている母親は「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が多く、それ以外では「利用したいと思わない」が多くなっています。

	【N】	病児保育利用希望		
		なもでのき をたれば 利用の病 した育の い施子 設ど	い利用 したい と思わ な	無回答
フルタイムで働いている	【N=139】	57.6	42.4	0.0
フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=23】	34.8	65.2	0.0
パート・アルバイトなどで働いている	【N=109】	33.9	61.5	4.6
パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）	【N=2】	0.0	100.0	0.0
以前は働いていたが、今は働いていない	【N=26】	38.5	46.2	15.4
これまで働いたことがない	【N=1】	0.0	0.0	100.0

第6項 一時預かりなどの利用状況

一時預かりなどの利用状況について、就学前児童のいる家庭 1,241 人に聞いたところ、「利用していない」が最も多く 71.6%、その次に「幼稚園の預かり保育」が 14.9%、「一時保育」が 8.0%と続いています。



第7項 子どもの生活習慣

1 朝ごはん

朝ごはんの状況について、就学前児童・就学児童ともに「毎日食べる」が最も多くなっています。

		朝ごはん					無回答
		毎日食べる	食べる日のほうが多い	食べない日のほうが多い	ほとんど食べない	離乳食前	
就学前児童	全体 (N=1,241)	91.3	3.8	1.0	0.3	2.4	1.2
	0歳 (N=208)	79.3	3.8	1.4	0.5	14.4	0.5
	1歳 (N=194)	93.8	5.2	1.0	0.0	0.0	0.0
	2歳 (N=184)	92.4	5.4	1.1	1.1	0.0	0.0
	3歳 (N=203)	94.1	4.9	0.5	0.0	0.0	0.5
	4歳 (N=200)	95.5	0.0	1.0	0.5	0.0	3.0
	5歳 (N=227)	93.0	3.5	0.9	0.0	0.0	2.6

		朝ごはん					無回答
		毎日食べる	食べる日のほうが多い	食べない日のほうが多い	ほとんど食べない	無回答	
就学児童	全体 (N=1,245)	96.1	2.6	0.6	0.4	0.4	0.4
	6歳 (N=248)	97.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.8
	7歳 (N=214)	97.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.5
	8歳 (N=210)	96.2	2.9	0.5	0.5	0.0	0.0
	9歳 (N=184)	93.5	4.3	1.1	0.5	0.5	0.5
	10歳 (N=173)	96.0	2.9	0.6	0.6	0.6	0.0
	11歳 (N=186)	95.2	3.2	1.1	0.0	0.5	0.5

2 家族と一緒に食事

1日1回は家族と食事をするかについて、就学前児童・就学児童ともに「する」が最も多くなっています。

		家族と一緒に食事			
		する	しない	離乳食前	無回答
就学前児童	全体 (N=1,241)	94.4	1.9	2.4	1.3
	0歳 (N=208)	79.8	4.3	14.4	1.4
	1歳 (N=194)	96.4	3.6	0.0	0.0
	2歳 (N=184)	99.5	0.5	0.0	0.0
	3歳 (N=203)	99.0	0.5	0.0	0.5
	4歳 (N=200)	96.0	1.5	0.0	2.5
5歳 (N=227)	96.9	0.4	0.0	2.6	

		家族と一緒に食事		
		する	しない	無回答
就学児童	全体 (N=1,245)	98.4	1.2	0.4
	6歳 (N=248)	98.0	1.2	0.8
	7歳 (N=214)	98.1	1.4	0.5
	8歳 (N=210)	100.0	0.0	0.0
	9歳 (N=184)	98.9	0.5	0.5
	10歳 (N=173)	98.8	1.2	0.0
	11歳 (N=186)	97.3	2.2	0.5

3 テレビ・ビデオの平均視聴時間

平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間について、就学前児童・就学児童ともに全体では「2時間以内」が最も多くなっていますが、就学児童の11歳では「2時間以上」が最も多く31.2%となっています。

		テレビ・ビデオの平均視聴時間						
		30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間以上	その他	無回答
就学前児童	全体 (N=1,241)	10.0	21.3	14.4	26.3	23.8	3.1	1.2
	0歳 (N=208)	25.0	20.2	8.7	16.8	16.8	11.5	1.0
	1歳 (N=194)	7.2	16.0	17.0	27.8	30.4	1.5	0.0
	2歳 (N=184)	4.3	20.1	12.5	28.8	33.7	0.5	0.0
	3歳 (N=203)	10.3	24.6	14.8	24.6	23.2	2.0	0.5
	4歳 (N=200)	7.5	21.0	17.0	31.5	18.5	2.0	2.5
5歳 (N=227)	4.4	24.2	16.3	29.5	22.5	0.4	2.6	

		テレビ・ビデオの平均視聴時間					
		30分以内	1時間以内	1時間30分以内	2時間以内	2時間以上	無回答
就学児童	全体 (N=1,245)	9.7	21.8	16.7	28.1	23.0	0.7
	6歳 (N=248)	10.1	21.0	17.7	31.0	19.0	1.2
	7歳 (N=214)	8.9	25.2	17.8	28.0	19.6	0.5
	8歳 (N=210)	8.6	22.4	18.1	29.0	21.9	0.0
	9歳 (N=184)	7.6	20.7	17.9	27.2	25.5	1.1
	10歳 (N=173)	12.7	24.3	14.5	24.9	23.7	0.0
	11歳 (N=186)	10.2	19.9	15.1	22.6	31.2	1.1

4 就寝時刻

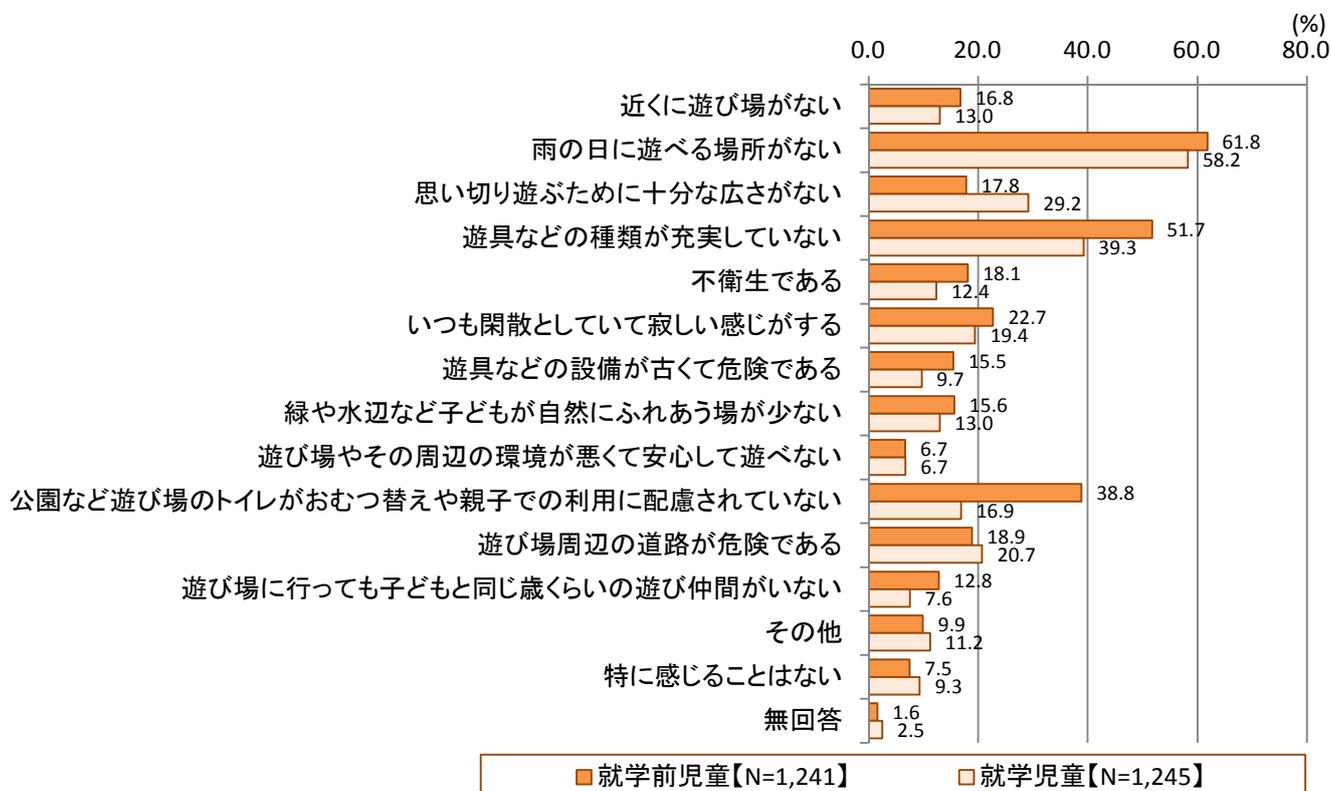
平均的な就寝時刻について、就学前児童・就学児童ともに全体では「21時～21時半」が最も多くなっていますが、就学児童の10歳では「21時半～22時」が最も多く39.3%、11歳では「22時～23時」が最も多く37.6%と、年齢があがるにつれて、就寝時刻が遅くなっています。

		就寝時刻							
		20時半より前	20時半～21時	21時～21時半	21時半～22時	22時～23時	23時以降	その他	無回答
就学前児童	全体 (N=1,241)	12.7	26.0	31.7	16.9	10.1	1.0	0.3	1.3
	0歳 (N=208)	17.3	26.4	25.0	15.9	13.0	1.0	1.0	0.5
	1歳 (N=194)	13.4	23.2	28.4	21.6	12.4	0.5	0.5	0.0
	2歳 (N=184)	7.6	21.7	29.3	22.8	15.2	2.7	0.0	0.5
	3歳 (N=203)	14.8	28.1	34.0	12.3	9.4	0.5	0.0	1.0
	4歳 (N=200)	12.5	27.5	35.5	13.5	8.0	0.5	0.0	2.5
5歳 (N=227)	10.6	27.8	37.4	15.9	4.8	0.4	0.4	2.6	

		就寝時刻						
		20時半より前	20時半～21時	21時～21時半	21時半～22時	22時～23時	23時以降	無回答
就学児童	全体 (N=1,245)	2.0	12.9	33.8	29.0	18.4	3.4	0.6
	6歳 (N=248)	5.2	22.6	42.3	22.2	6.9	0.0	0.8
	7歳 (N=214)	1.4	18.7	43.0	23.8	12.1	0.5	0.5
	8歳 (N=210)	2.4	12.4	40.5	31.4	11.9	1.4	0.0
	9歳 (N=184)	1.1	10.9	37.0	30.4	17.9	1.6	1.1
	10歳 (N=173)	0.6	6.4	16.8	39.3	30.6	6.4	0.0
	11歳 (N=186)	0.0	2.2	16.7	30.6	37.6	12.4	0.5

第8項 子どもの遊び場

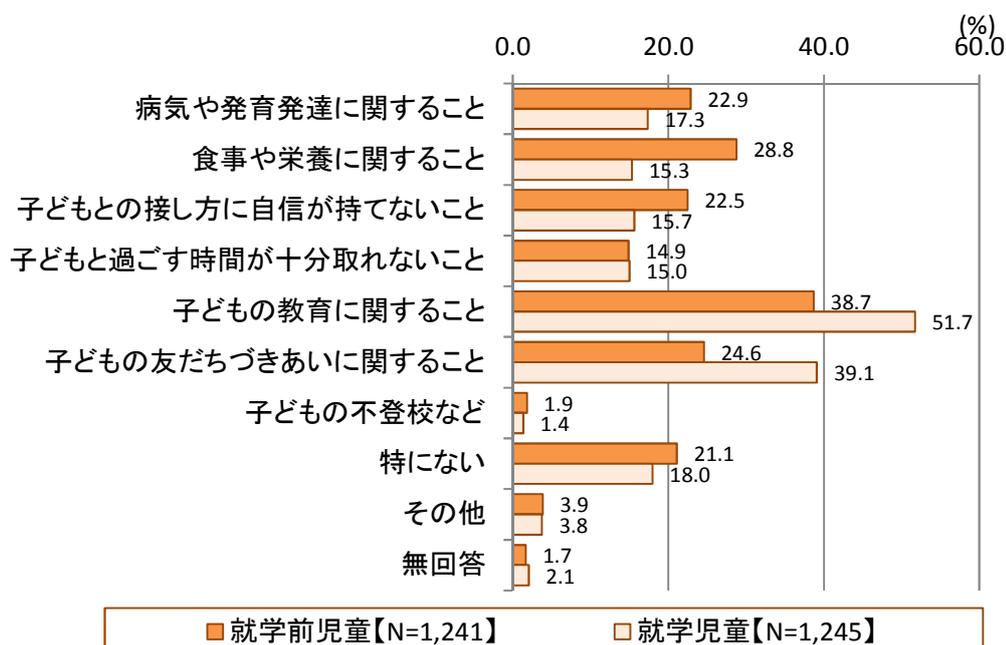
子どもの遊び場について日ごろ感じることは、就学前児童・就学児童ともに「雨の日に遊べる場所がない」が最も多く、その次に「遊具などの種類が充実していない」が続いています。



第9項 子育ての悩み

1 子どもに関すること

子育てに関して日常悩んでいることについて、子どもに関することでは、就学前児童・就学児童ともに「子どもの教育に関すること」が最も多くなっています。



2 保護者に関すること

子育てに関して日常悩んでいることについて、保護者に関することでは、就学前児童では「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が最も多く46.4%、就学児童では「子育てにかかる出費がかさむこと」が最も多く35.9%となっています。

